

地域活動と防災をつなぐ

岡山市南区 東畦学区防災会 池田 知子

2011年 3月11日
東日本大震災

子ども会役員として、
PTAの支援物資集めに協力



人生で初めて
災害支援に関わる



2012年 子ども会役員として
地域の防災訓練にスタッフとして参加

▶学区でのイベント
夏祭り
学区体育大会
とんど祭り

地域のお団体の方やいろいろな世代の人たちと
交流が深くなっていく

2018年7月 西日本豪雨災害



災害ボランティアを始めたきっかけ



活動の様子



2019年 東畦学区防災会 立ち上げ

▶中心スタッフとして関わるようになる
他のメンバーは・・・

岡山市危機管理室職員
消防士
防災士

ところが、、、



防災の
スペシャリスト!

自主防災会の編成と役割分担図

平時の活動

非常時の活動

- ◆ 年間防災計画、規約の作成及び組織の役割を明確
- ◆ 避難所運営訓練を行う。
- ◆ 公的防災機関などとの連携を確保する。

- ◆ 本部会議の招集とあらかじめ定められている役割分担の確認を行う。
- ◆ 各班の活動の統制を行う。

- ◆ 出火防止の啓発を行う。
- ◆ 火気器具、危険物の保管・管理、プロパンガスボンベの転倒防止などの呼び掛け。
- ◆ 消火用水の確保、消火器・住警器の設置広報を行う。

- ◆ 出火防止及び初期消火を行う。
- ◆ 消防機関に協力する。

- 一時集結場所、美空の活動に、近隣路の安全確保も必要**

- ◆危険箇所(はけ、ブロッケ等)を、あらかじめ確認しておく。
- ◆避難訓練を行う。
- ◆非常持ち出し・備蓄の広報

- ◆ 公的防災機関と連絡を取る。
- ◆ 避難情報を伝達する。
- ◆ 避難広報を行うとともに、避難場所などにおける秩序の維持に努める。

- ◆地域内のお客り、乳幼児、病人などを備へておく。（各町内会への働きかけを行う。）
- ◆応急医薬品及び資機材を備える。
- ◆救出・救護訓練を行う。
- ◆応急手当講習を要する。

- ◆ 負傷者の処置を行う。
- ◆ 救出活動を行い、救急手当てを行う。
- ◆ 負傷者を救護所などに搬送する。
- ◆ お年寄り、乳幼児、病人などの安全確保を行う。

- ◆ 地図についての正しい知識の普及をはかる。
- ◆ 映画会、懇談会などを開催する
- ◆ 防災マップなどを作成し、地域防災意識を高める。
- ◆ 巡回広報、情報収集、伝達訓練を行う。

- ◆ 公的防災機関から発表される災害情報を地域住民に広報する。
- ◆ 地区内の被害状況及び必要な情報を把握する。
- ◆ 公的防災機関などとの救急連絡等を行う。
- ◆ 避難所受付

- ◆ 食料、飲料水などの備えを呼び掛ける。
- ◆ 必要な資機材の確保と点検を行う。
- ◆ 炊き出し訓練、給水訓練などを行う。

- ◆ 必要に応じて炊き出しを行う。
- ◆ 食料及び応急物資の調達、配分を行う。
- ◆ その他

本部

会長 大塚 勝行
TEL

TEL.

香港文化(2)

TEL.

TEL: 011 222 222 2222

TEL 渡部 義男(第三)

合上

アドバイザー 片岡 保夫

南区災害対策本部902-1850

地域センター298-3131

光南病院GP

西ふれあい地域包括センター

妹尾消防

学区各团体

■ 消防増水機

- 1 ◎松浦 剛 (田)
- 2 ○森谷 武義 (第五)
- 3 大出 重機 (中丁場)
- 4 塩出 稔 (東町)
- 5 中山 昌彦 (陸奥)

24

- 1 志保寺 興文(第二)
- 2 ○山崎 晋也(第一)
- 3 大月 哲行(わかば)
- 4 有野 弘雄(興榮)
- 5 飯井 正三(中丁場)

■ 救出・救護班

- 1 ◎吉岡 義一郎(民生)
2 ○猪木 瑞代(民生)
3 池田 知子(育成08)
4 大塚 幹子(星二)
5 梶原 雄子(08)

情报班

- 1 ◎野田 敬剛 (第1)
- 2 ○三浦 和美 (育成)
- 3 窪木明美 (PTA)
- 4 頼正 秀史 (第3)
- 5 堀 一彦 (MC)

■ 給食・給水班

- 1 ◎山中 親美 (榮養改善)
- 2 ○出水 順子 (榮養改善)
- 3 津山 幹雄 (みどり)
- 4 山野 拓史 (駅西)
- 5 平松 重吉 (NC)

組織の形骸化にとらわれて実際の活動につながらない

学区防災会としての位置づけが不明確

2020年～2022年 コロナ蔓延

- ▶地域のイベントは中止
- ▶月1回の定例会も停滞
- ▶主要スタッフの入れ替わり

岡山市危機管理室職員
防災士



このままでは存続が危ないっ



- ★ 定例会前にスタッフで打合せ会議
- ★ 定例会にレジメを用意 ⇒ スムーズな進行
- ★ イベントをやりっぱなしにせず、
前年度の課題をクリアするようにする

組織の継続性

- ▶ LINEグループを作成、登録してもらう
- ▶ 各団体、町内会から役員として1名参加
(体協、PTA、子ども会、消防団、栄養改善、民生委員、
地域の総合病院、各町内会、連合町内会長)



役員としての任期が終わっても、
LINEグループには入ったままにしてもらう

災害が起きた時に動ける人をたくさん作っておく

役割の継続性①

★地域でのイベント

夏まつり（7月下旬）

子ども会役員、保護者 やきそば 1000食

とんどまつり（1月中旬）

栄養改善委員、小学校PTA、子ども会 豚汁500食

非常時の炊き出し訓練

役割の継続性②

★防災訓練（避難所開設訓練）

受付

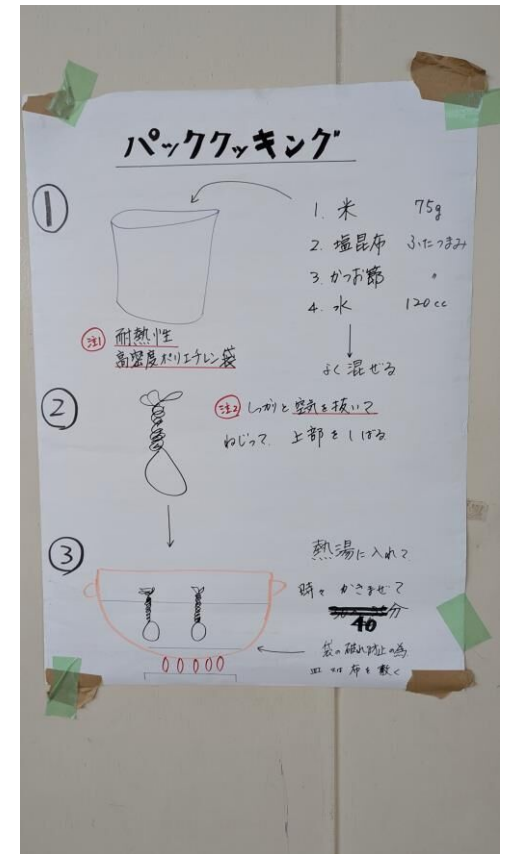
子ども会、PTA



炊き出し

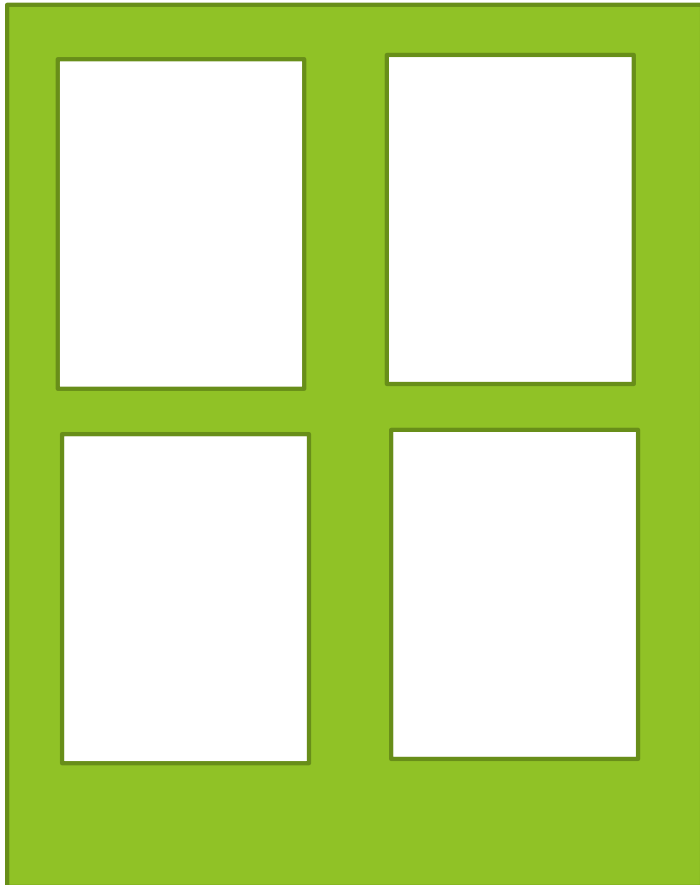
栄養改善委員

パッククッキング 250食



避難エリアのライン引き

体育協会



地域での活動

- ▶ 地域の小学校で防災の授業
- ▶ AED・胸骨圧迫の講習会
(小学校PTAと共同開催)

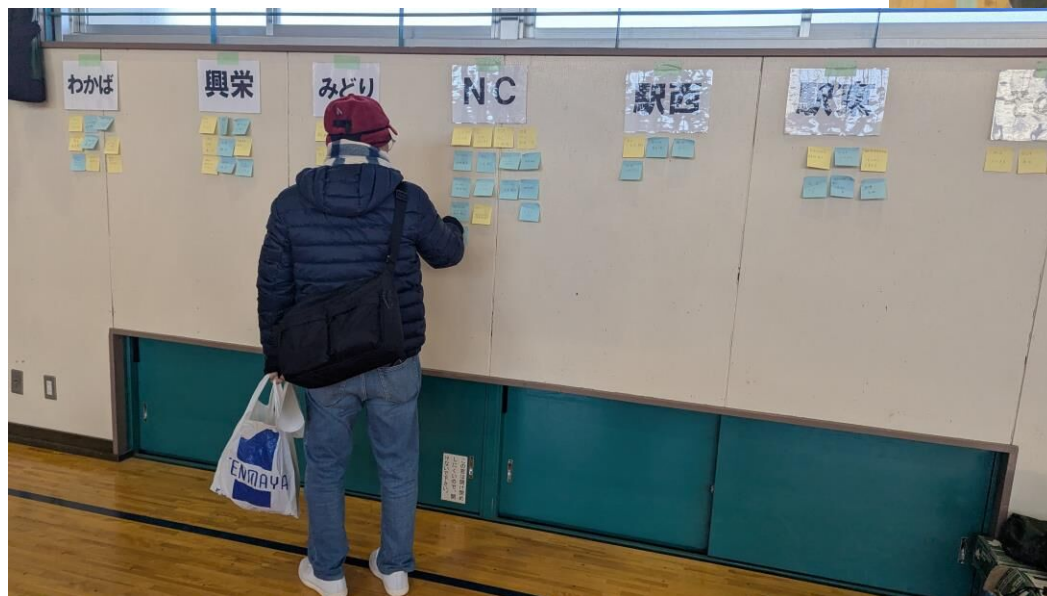
防災の必要性を知ってもらうために

防災会役員には

- ▶ 年 1 回 LINEによる内水反乱を想定した模擬訓練
- ▶ 学区防災訓練 ブラインド訓練
事前に役割を決めず当日各自の判断で動く

地域の方たちには

- ▶ 学区防災訓練（避難所開設訓練）
お客様ではなく、
実際の避難を想像してもらう



東睦学区独自の取り組みを知ってもらう





地域での防災活動をすすめるためには・・・

仲間づくりが重要！

- ▶ 地域イベントでの団体活動から、たくさんの人に出会う
- ▶ 活躍している人を見つけて仲間にする
- ▶ 各種団体としっかり連携をとって顔の見える関係性を築く
- ▶ 役員として関わっている期間だけでなく、
任期が終わった後も何かの形でつながるようにする

地域のコミュニティの力が大切